

○ 演題名：静岡県における生涯研修体系について

所 属：静岡県介護支援専門員協会生涯研修体系検討委員

職 種：生涯研修体系検討委員会委員長

発表者：檜木 博之

共同研究者：村田雄二 榊原和美 古本達也
小林彰宏 古口好美

要旨

静岡県介護支援専門員協会では、平成 27 年度生涯研修委員会を立ち上げて、生涯研修体系を作成していきました。本事業は、介護支援専門員として実践を行っていくうえで必要な知識・技術を明らかにし、各地域で研修を実施できるようにすることを目的としています。平成 27 年度は、介護支援専門員として 5 年間で身につける必要のある知識・技術とは何かを明らかにしていきました。そして法定研修と照らし合わせて、各地域でどのような研修を行っていけばよいかのモデルを示すところまで検討しました。

ケアマネジメントプロセスやサービス・制度についてだけでなく、介護支援専門員の倫理、対人援助、地域包括ケア等について具体的にどのようなことを理解していけばよいかを明確にしたので、今後、各地域で本生涯研修体系を基にして介護支援専門員の研修を実施できるようにしていきたいと考えています。

平成28年度 第5回ケアマネ発表大会

静岡県における 生涯研修体系について

平成28年6月12日(日)
アクティシティ浜松コンgresセンター

静岡県介護支援専門員協会生涯研修体系検討委員 ○榎木博之
村田雄二 榊原和美 古本達也 小林彰宏 古口好美

研究の背景

静岡県介護支援専門員協会で行ってきたこと

2010年 「静岡県介護支援専門員連絡協議会研修研究会報告書」

「わかりやすい研修のあり方～研修方法の紹介～」

「職能団体と地域包括支援センターの役割・位置づけ」

⇒ 市町で行える研修、市町介護支援専門員職能団体の在り方について

2014年 静岡県ケアマネ研究大会

「地域ケアマネ団体が行う研修のあり方～～アンケート調査から見えてきたこと～」

⇒ 静岡県介護支援専門員協会の協力団体である24団体に研修に関するアンケートを実施。各団体で行われている研修実態を明らかにした。

2016年 介護支援専門員法定研修 新カリキュラムスタート

地域ケアマネ団体が行う研修の特徴と課題

メリット

- ①地域間のネットワークの形成
- ②地域の社会資源の共有
- ③災害への対策を地域で検討できる

課題

- ①地域間での違いが大きい
- ②講義中心の研修が多い
- ③ケアマネジメント技術に関する研修を行っている団体が少ない

⇒

地域で行うことができないか？

生涯研修委員の目的

- 法定研修と地域で行う研修との棲み分けを明確化する！
- 地域で行う研修内容を提示し、地域格差を少なくしてする！
- 介護支援専門員として必要な知識・技術とは何かを整理する！
- 法定研修を含めた介護支援専門員のキャリアパスを明らかにする！

⇒

介護支援専門員として実践を行っていくうえで必要な知識・技術を明らかにし、各地域で研修を実施できるようにすることを目的とする。

「静岡県の介護支援専門員の専門性」とは何かを明確にする！

研究会で行ってきたこと

- 平成27年度～現在 合計4回開催
 - 介護支援専門員として5年間で身につける必要のある知識・技術とは何かを明らかにする。
 - 法定研修で扱う内容か、いつ頃修得すべき内容か、県・市町どちらで実施することが適切かについて検討する！
 - 1年目から修得すべき項目が多いことから、「介護支援専門員基礎研修」を県協会で実施するため、実施する項目を検討した！
 - 「介護支援専門員基礎研修」で行う研修内容を明確にするシラバスを作成中の段階。
- ⇒「介護支援専門員基礎研修」は平成29年度実施予定

基礎研修で行う項目①

大項目	中項目
医学的知識	高齢者の心身の特性を知る
	薬剤に関する知識
在宅看護の基礎知識	疾患・症状別看護の理解
ケアマネジメントプロセス	基本理念とケアマネジメントの理解
	アセスメント（アセスメント、ニーズの把握の方法）
	プランニング（ケアプラン作成）
	サービス担当者会議
	モニタリング評価（モニタリングと記録の方法）

基礎研修で行う項目②

サービスの理解	訪問系サービス
	通所系サービス
	居宅療養管理指導
	居住系サービス
	地域密着型サービス
多職種の理解	介護保険施設
	保健・医療・介護の多職種の理解 それ以外の多職種の理解
多職種連携の理解	
保健・予防の知識	介護予防
医療・介護サービスとの連携と活用	主治医との連携
地域包括ケアの理解	地域包括ケアの理解
	地域ケア会議の理解

基礎研修で行う項目③

制度理解	社会保障の最新情報 生活保護法等の概要の理解 (低所得者援助施策も含む)
運営管理	権利擁護の諸制度(成年後見制度・福祉サービス利用援助事業)
介護支援専門員の倫理	災害対応 介護支援専門員の価値 自己覚知 専門職の条件 介護支援専門員の倫理綱領
対人援助技術	コミュニケーションの理解 面接技術の理解
事例検討の理解	事例検討の理解 事例検討の実践

今後行うこと

- 「介護支援専門員基礎研修」のシラバス作成
 - 平成29年度実施に向けた「介護支援専門員基礎研修」の要項作成
 - 5年目以降の研修体系の作成
 - 市町に伝承する方法の検討
- ⇒ 「介護支援専門員のキャリアパス」を明確にする！

今後の課題

- 市町で行う研修と主任介護支援専門員更新研修受講要件の連動が図れないか？
- 市町に伝承するための方法(研修内容の伝承・講師派遣等)を具体的にどうするか？
- 本研究の取り組みを会員にどのように伝えていくか？

⇒

静岡県の介護支援専門員の「キャリアパス」は自分たちで作成する！

ご清聴
ありがとうございました。

